



西尾ロータリー Weekly

第 2952 回例会 平成 30 年 12 月 25 日(火) 天気:晴 No.23

会長/ 鳥居祥雄 幹事/ 石川哲朗

クラブ会報委員 杉浦 広 / 永江義澄 / 三浦康彦

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール B

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>

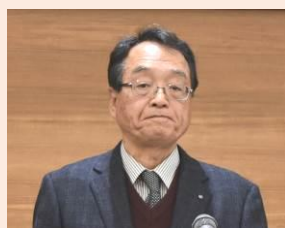
2018-19 年度テーマ



【本日のプログラム】

司 会 岡田雅彦例会運営委員長 齊 唱 「手に手つないで」
 スピーカー (株)おぎそ 会長 小木曾順務 様(土岐 RC)「脱塩処理すれば原料になる(海ごみ改善願い)」
 ビジター 東知多 RC 加藤知成君
 食 事 札幌かに家「かに弁当」

〔会長挨拶〕



平成30年もあとわずかとなりました。そして今日が今年最後の例会です。今日のお客様を紹介します。(株)おぎそ会長の小木曾様です。テーマは「脱塩処理をすれば原料になる」。ごみ問題は私たちにとって大変重要な問題であると思います。

12月23日が天皇陛下の誕生日で、天皇陛下ご自身のテレビインタビューを見ました。来年4月末に退位されることも含めて、国の象徴であられる天皇陛下の日本に対する思いを聞き、平成の時代が終わることに少し寂しさを感じました。

昨日24日はクリスマスイブでした。会社の共済会行事のひとつで、この日に社員全員にクリスマスケーキを配ります。社員のほとんどがケーキを持って早めに帰宅します。我が家もケーキを持って帰り、キリスト様の誕生日をお祝いしました。

日本はクリスチャンになり、もう少しするとお正月は信徒に早変わり、このいい加減さが居心地いいのではないかと思います。この大らかさで来年もいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔委員会報告〕

〈出席委員会〉金原健志 委員長

本日の出席数 50 名

12 月 9 日のメイクアップ 18 名

訂正出席率 100%

〈スマイルボックス委員会〉萩原竜治 委員長

鳥居祥雄君 小木曾様、今日はスピーチよろしくお願ひします。

大河内芳信君 小木曾君、本日の卓話よろしくお願ひします。難しい話はなるべく少なくして下さいね！

小木曾順務君(土岐 RC) ふるさと西尾で卓話ありがたい限りです。今後共よろしくお願ひします。

田中正規君 家族例会の写真をいただきました。ありがとうございました。

食事

札幌かに家
「かに弁当」



山崎周彌君 クリスマス例会の写真いただきました。

天野 卓君 クリスマス例会の写真ありがとうございました。

三浦眞澄君 クリスマス例会の写真ありがとうございました。

杉浦 広君 永江義澄君 三浦康彦君 クリスマス家族会では会長・幹事さん・親睦委員会始め皆様ありがとうございます。写真担当のクラブ会報ではウ

イーグリーの写真含め平成最後のクリスマス家族会を記録する為、ご家族の写真をプリントしました。出来栄え充分ではないですがお持ち帰り下さい。名古屋のヒルトンナイトなのにヒルトンとはこれいかに。ありがとうございます。

杉浦 広君 皆様の御指導のおかげで今年も大過なく過ごせそうです。委員会では三浦さん、永江さんにご大変お世話になりました。ありがとうございます。

浅岡直幸君 高井様、いつもありがとうございます。メリークリスマス

〔卓話〕(株)おぎそ 会長 小木曾順務様



「脱塩処理すれば原料になる(海ごみ改善願い)」

今日、ガソリンが 140 円/リットル(約 15 万円/t)を超える時代に入った。伊勢湾に 1 万トン/年の海ごみが、その 30%の廃プラ 3 千 t の素材原料価格は 4.5 億円にも相当します。この海ごみの原料化(売却益で回収費を充当)が本当に現実にできるのでしょうか。調査で年月を掛け、内閣府総合海洋政策担当から環境省を始め国交省の海ごみ担当者までを訪ね歩き実態を確認してきました。やはり霞が関も、名古屋港担当者も異口同音に、残念なことに「現状の業務で精一杯」「所掌に追われる毎日」、どこもこんな現状ばかりで、結果「先延ばし」でした。

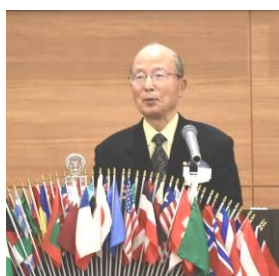
一方、今の世にはイノベーションが必要で、このイノベーション理論を早稲田大学経営管理研究科 入山章栄氏は、幅広い知の探索と既存の知の深化と語っています。

ロータリーは、4つのテストで「真実かどうか」「みんなのためになるかどうか」を提唱しています。国策として再生エネルギー化事業を奨めているが、この海ごみの再生エネルギー化も、調査結果によりロータリーが提唱する4つのテストから、知の探索に繋ぐことで収益事業として確立できる時代に入ったと考えています。

今や、矢作川や豊川から三河湾にペットボトル・廃プラが流れ出し、国費投入で海ごみの焼却処分をしているが、今日廃プラ油化・自動分別技術が立証できた事で回収費が捻出できる再生エネルギー化事業へと舵を切ることが可能となりました。

土徳(郷学)を持つ支援者がいなければ事業化はできません。省察すれば西尾市内には天竺神社(綿糸/平安期)が祀られ明治初期には先人たちの心の中に生きた土徳(郷学)で明治用水が引かれ、痩せた安城ヶ原が土壌豊かな日本のデンマークへと変貌、これが天竺の綿糸と相まって豊田佐吉氏の織機事業が興き、トヨタの勃興で今では工業立県の愛知を支え日本の財政を支えています。この三河に根付く土徳(郷学)を育む事業者の支援を得る事ができれば事業化は可能であります。

故郷西尾市に生まれ、卓話の機会を頂いたことに感謝しています。これを機に、西尾商工会議所が三河湾の海洋環境保護を旗印に内閣府(霞が関)に対し「フォーラム開催に繋ぐ改善願い」の声を上げて頂ければ、三河がモデル地区として現実味を帯びてきます。是非、土徳を持つ西尾ロータリークラブ会員各位には、歴史に学んだ故にでき上った海ごみの収益事業の必要性をご理解して頂き、支援をお願いいたします。是非、声を発して頂きたい。



東知多RC
加藤知成君